

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	北海道財務局長
【提出日】	平成25年10月15日
【四半期会計期間】	第60期第1四半期（自 平成25年6月1日 至 平成25年8月31日）
【会社名】	株式会社テーオー小笠原
【英訳名】	T.O.OGASAWARA CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 小笠原 康正
【本店の所在の場所】	北海道函館市港町三丁目18番15号
【電話番号】	(0138) 45 - 3911 (代表)
【事務連絡者氏名】	取締役副社長統括管理本部本部長 太田 修治
【最寄りの連絡場所】	北海道函館市港町三丁目18番15号
【電話番号】	(0138) 45 - 3911 (代表)
【事務連絡者氏名】	取締役副社長統括管理本部本部長 太田 修治
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第59期 第1四半期連結 累計期間	第60期 第1四半期連結 累計期間	第59期
会計期間	自平成24年6月1日 至平成24年8月31日	自平成25年6月1日 至平成25年8月31日	自平成24年6月1日 至平成25年5月31日
売上高 (千円)	7,799,822	9,433,012	35,619,524
経常利益 (千円)	209,155	231,693	515,513
四半期(当期)純利益 (千円)	177,880	179,826	212,198
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	217,591	144,717	521,859
純資産額 (千円)	3,699,883	4,092,019	4,004,134
総資産額 (千円)	28,747,804	30,068,983	28,990,796
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	28.44	28.75	33.93
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	12.9	13.6	13.8

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

なお、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しております。詳細は、「第4 経理の状況

1 四半期連結財務諸表 注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要や新政権による経済政策により円安、株式市場が上昇し企業業績の回復及び個人消費も回復傾向で明るい兆しが見えたものの、新興国経済の鈍化などから依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高が9,433百万円（前年同期比20.9%増）、営業利益は208百万円（同5.6%減）、経常利益は231百万円（同10.8%増）、四半期純利益は179百万円（同1.1%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

木材事業におきましては、公共投資、被災住宅及び新設戸建住宅着工戸数の増加で一般建築資材の受注増加などにより売上高は前年同期を上回ったものの、資材価格の上昇や価格競争により営業利益は減少いたしました。

この結果、売上高は2,814百万円（同4.0%増）、営業利益は36百万円（同51.4%減）となりました。

流通事業におきましては、「イエローグローブ佐呂間店」（北海道常呂郡）をオープンするなど販売力の強化に努めました。売上高、営業利益は前年同期の水準を確保することができました。

この結果、売上高は4,070百万円（同1.8%増）、営業利益は120百万円（同3.2%減）となりました。

住宅事業におきましては、新政権による経済政策及び消費税の駆け込み需要などにより個人の持家及び増改築工事が増加し、新設の戸建て着工件数は前年同期を上回ることができました。

この結果、売上高は404百万円（同43.0%増）、営業損失は16百万円（前年同期は33百万円の損失）となりました。

建設事業におきましては、公共投資及びサービス付き高齢者向け住宅などの増加により、売上高、営業利益は前年同期を上回ることができました。

この結果、売上高は779百万円（同67.9%増）、営業利益は39百万円（同335.6%増）となりました。

不動産賃貸事業におきましては、売上高は135百万円（同0.7%減）、営業利益は56百万円（同23.0%増）となりました。

自動車関連事業におきましては、エコカー補助金が終了し新車の販売台数は減少したものの、ガソリンの高騰により小型の低燃費車の販売は順調に推移しております。なお、自動車関連事業につきましては、前第3四半期連結会計期間より経営成績に反映しております。

この結果、売上高は1,019百万円、営業損失は27百万円となりました。

サービス等事業におきましては、売上高は208百万円（同2.0%減）、営業利益は6百万円（同77.8%増）となりました。なお、従来「流通事業」に含めておりました介護用品の販売については、当第1四半期連結会計期間より、サービス付き高齢者向け住宅、デイケア施設等を取得しケアサービス事業の展開を拡大するため、セグメントを「サービス等事業」に変更いたしました。

#### (2) 財政状態の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は30,068百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,078百万円増加しております。主な要因としましては受取手形及び売掛金が574百万円、商品及び製品が149百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ990百万円増加し、25,976百万円となりました。主な要因としましては、長期借入金236百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が674百万円及び短期借入金が459百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

純資産は、4,092百万円となり前連結会計年度末に比べ87百万円増加しております。

#### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### (4) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	22,000,000
計	22,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年8月31日)	提出日現在発行数(株) (平成25年10月15日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	8,926,896	8,926,896	東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)	単元株式数100株
計	8,926,896	8,926,896	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数(株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額(千円)	資本金残高(千円)	資本準備金増減額(千円)	資本準備金残高(千円)
平成25年6月1日～平成25年8月31日	-	8,926,896	-	1,775,640	-	1,167,443

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年5月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 2,672,500	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,251,300	62,513	-
単元未満株式	普通株式 3,096	-	-
発行済株式総数	8,926,896	-	-
総株主の議決権	-	62,513	-

【自己株式等】

平成25年8月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社テーオー小笠原	北海道函館市港町三丁目18番15号	2,614,900	-	2,614,900	29.29
(相互保有株式) 小泉建設株式会社	北海道函館市昭和3丁目36番13号	57,600	-	57,600	0.64
計	-	2,672,500	-	2,672,500	29.93

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年6月1日から平成25年8月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年6月1日から平成25年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,356,521	1,370,029
受取手形及び売掛金	2,930,783	<sup>2</sup> 3,505,458
営業貸付金	1,197,029	1,164,590
商品及び製品	3,552,487	3,702,163
販売用不動産	3,346,747	3,198,985
原材料及び貯蔵品	793,194	900,029
未成工事支出金	212,384	206,790
その他	1,675,866	1,542,538
貸倒引当金	673,675	363,934
流動資産合計	14,391,339	15,226,651
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,032,106	3,119,723
賃貸用資産(純額)	4,374,683	4,357,159
土地	4,043,452	4,043,452
その他(純額)	687,674	880,725
有形固定資産合計	12,137,916	12,401,060
無形固定資産	142,892	137,528
投資その他の資産		
投資有価証券	1,260,136	1,199,511
その他	1,201,859	1,549,492
貸倒引当金	143,347	445,260
投資その他の資産合計	2,318,647	2,303,742
固定資産合計	14,599,456	14,842,331
資産合計	28,990,796	30,068,983
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,778,174	<sup>2</sup> 6,452,294
短期借入金	12,380,498	12,840,302
未払法人税等	103,949	89,865
引当金	185,653	206,380
その他	1,403,112	1,487,793
流動負債合計	19,851,387	21,076,636
固定負債		
長期借入金	3,607,053	3,370,523
退職給付引当金	359,315	371,067
役員退職慰労引当金	56,641	59,406
その他	1,112,263	1,099,330



	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
固定負債合計	5,135,273	4,900,327
負債合計	24,986,661	25,976,964
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,775,640	1,775,640
資本剰余金	1,953,655	1,953,655
利益剰余金	1,474,266	1,597,285
自己株式	1,303,556	1,303,582
株主資本合計	3,900,005	4,022,999
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	104,128	69,019
その他の包括利益累計額合計	104,128	69,019
純資産合計	4,004,134	4,092,019
負債純資産合計	28,990,796	30,068,983

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】  
【四半期連結損益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)
売上高	7,799,822	9,433,012
売上原価	6,173,930	7,512,630
売上総利益	1,625,892	1,920,382
販売費及び一般管理費	1,405,218	1,712,073
営業利益	220,673	208,308
営業外収益		
受取利息	1,454	1,472
受取配当金	29,028	26,952
受取保険金	12,501	14,379
その他	33,934	46,887
営業外収益合計	76,919	89,692
営業外費用		
支払利息	65,178	59,417
その他	23,259	6,891
営業外費用合計	88,438	66,308
経常利益	209,155	231,693
特別利益		
固定資産売却益	927	551
投資有価証券売却益	7,927	-
特別利益合計	8,855	551
特別損失		
固定資産売却損	434	-
固定資産廃棄損	-	660
投資有価証券評価損	41,252	-
特別損失合計	41,686	660
税金等調整前四半期純利益	176,324	231,584
法人税、住民税及び事業税	36,284	47,671
法人税等調整額	37,841	4,086
法人税等合計	1,556	51,758
少数株主損益調整前四半期純利益	177,880	179,826
四半期純利益	177,880	179,826

【四半期連結包括利益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年6月1日 至 平成24年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成25年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	177,880	179,826
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	39,710	35,109
その他の包括利益合計	39,710	35,109
四半期包括利益	217,591	144,717
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	217,591	144,717

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 受取手形割引高

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
受取手形割引高	1,909,954千円	1,553,990千円

2 期末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理につきましては、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、当第1四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
受取手形	- 千円	10,461千円
支払手形	- 千円	375,389千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)
減価償却費	121,789千円	130,675千円
のれんの償却額	- 千円	4,365千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年6月1日 至平成24年8月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年8月28日 定時株主総会	普通株式	37,871千円	6円	平成24年5月31 日	平成24年8月29 日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年8月22日 定時株主総会	普通株式	56,807千円	9円	平成25年5月31 日	平成25年8月23 日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年6月1日至平成24年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						計(千円)
	木材 (千円)	流通 (千円)	住宅 (千円)	建設 (千円)	不動産賃貸 (千円)	サービス等 (千円)	
売上高							
外部顧客への売上高	2,705,143	3,997,691	283,055	464,641	136,486	212,804	7,799,822
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,144	-	526	13,390	4,965	7,163	27,192
計	2,706,287	3,997,691	283,582	478,032	141,451	219,968	7,827,014
セグメント利益又は損失( )	74,705	124,753	33,178	9,161	45,770	3,408	224,620

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(千円)
報告セグメント計	224,620
セグメント間取引消去	1,016
全社費用(注)	2,930
四半期連結損益計算書の営業利益	220,673

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年6月1日至平成25年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント							計(千円)
	木材 (千円)	流通 (千円)	住宅 (千円)	建設 (千円)	不動産賃貸 (千円)	自動車関連 (千円)	サービス等 (千円)	
売上高								
外部顧客への売上高	2,814,213	4,070,632	404,783	779,918	135,598	1,019,389	208,476	9,433,012
セグメント間の内部売上高又は振替高	530	-	435	1,574	3,922	-	7,789	14,251
計	2,814,743	4,070,632	405,218	781,493	139,520	1,019,389	216,266	9,447,264
セグメント利益又は損失( )	36,276	120,750	16,819	39,904	56,291	27,146	6,062	215,319

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(千円)
報告セグメント計	215,319
セグメント間取引消去	1,489
全社費用(注)	5,521
四半期連結損益計算書の営業利益	208,308

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度まで報告セグメントの「流通事業」に含めておりました介護用品の販売については、当社が第1四半期連結会計期間より、サービス付き高齢者向け住宅、デイケア施設等を取得し、ケアサービス事業の展開を拡大するため、報告セグメントを「サービス等事業」に変更いたしました。なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年6月1日 至 平成24年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成25年8月31日)
1株当たり四半期純利益金額	28円44銭	28円75銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	177,880	179,826
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	177,880	179,826
普通株式の期中平均株式数(株)	6,254,313	6,254,257

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年10月15日

株式会社テーオー小笠原

取締役会 御中

### 新日本有限責任監査法人

指定有限責任  
社員  
業務執行社員 公認会計士 大森 茂伸 印

指定有限責任  
社員  
業務執行社員 公認会計士 板垣 博靖 印

指定有限責任  
社員  
業務執行社員 公認会計士 齊藤 揮誉浩 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社テーオー小笠原の平成25年6月1日から平成26年5月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年6月1日から平成25年8月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年6月1日から平成25年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社テーオー小笠原及び連結子会社の平成25年8月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれておりません。